
時の音色よ、天へと届け

さくら子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時の音色よ、天へと届け

【著者名】

NO55F

【作者名】

さくら子

【あらすじ】

千年前の都、京都。今も昔も変わらず、妖が跳梁跋扈するこの京の地に、不穏な影が立ちのぼる……。少年陰陽師の千年後の未来。今新しい主が彼らの前に現る……。

1始まりを告げる音を聽け（前書き）

この小説は、少年陰陽師の世界に沿つて書かれている物語。主人公は安倍の血を引く平成の子。いわゆる未来夢です。

……この時点で嫌気のさした方。お戻り下さいませ。

また、オリジナルを含みますが、ほぼ原作沿いに話を進めていく予定ですので、原作を知らない方は理解がしにくいかと思われます。予めご了承下さいませ。

1始まりを告げる音を聽け

お前たちが…次代の主をいつならば…

千年…待つてみろ…

それが…俺からの最後の命令だ…

その命を心に刻んでから幾星霜。

光陰の矢の如く、京の都の時は流れていった。

『時が流れば京の色合いも移ろつゝものよ、なあ神将』
『ああ…、そうだな…』

時代は変わる。

過去を消し去つてしまひゆうご、今の人々は新しいものを好む。故に、彼らが最後に人と過ごした景色と、全く違うものが彼らの瞳に映っていた。

『千年で、こんなに変わるものなのだな…人の世は』

『我らにとつてはほんの一瞬。だが人間にとつては恐ろしく長い。人の考えは時と共に変わる。これだけの時間があれば、こんなものなど造作もない』

彼らにとつてはほんの僅かでしかない時を、人は儂い命を幾多も輝かせる。

その燭は強く、大きく、しかし脆く、儂い。

彼ら、神という半永久的な存在から視れば、瞬き一つの生命は小さな欠片にしか映らないだろう。

しかし。

『お前らの主は……その我ら神の視点を覆した。まったく、人とはよくいったものよ』

感嘆の声に、皆無言で肯定を示す。そして、過去へ思いを馳せるようにな夕暮れの空を仰いだ。

『彼奴は哀しみに浸るだろう私たちに、生きる導を与えた……。我らはまだ、彼奴のその最後の命をやり遂げていない……』

時の音を聴いて、じらぶ。きっと、お前たちを導いてくれるよ

……

『なあ、昌浩よ……』

我らは、その音色を……聴くことが出来るのだろうか

……

さああと風が囁き、木々を揺らす。

ふいに、船石に座した神がつひと目を細めた。

『……人が来るな…』

『高露神…？いかがなされた』

陰帯びた咳きに、うつつくと引き戻された四対の影が怪訝そうに神を窺う。

暫くの沈黙の後、神は目許を和ませた。

『ほつ……。これは珍しい』

『……？』

『なに、近所の子供だ。……このところがらの悪い戯け共が彷徨いているからな、皆足を踏み入れないのを』

がんぜない子供達が戯れるを見るのは、微笑ましいものよ。

くつくつと笑う神に、四対の瞳が瞪られた。

やつと、この気まぐれな神の意図が読めた気がする。
斜に構えた影が厳かに問うた。

『……まさか、そのがらの悪い戯け共をなんとかしろとか、俺らに言つんじゃないだろうな』

低い問いに、神は楽し気に口端をつり上げた。

『勿論、そのつもりだが。……なんだ、その湿氣た顔は』

『……』

直々のお呼びなど珍しいと思こきや、こうこうつ訳か。

『たまには人界に降りるのも良いだろ？？そつ怖い顔をするな。
ほら、人が来たぞ』

神の示す先から、笑い声が響く。

四対の影は不満たらたらに神を一瞥した後、空氣に溶けるよつに見えなくなつた。

止まつていた彼らの歯車が、時を越えて、ゆつくつと動き出した瞬間だった。

1始まりを告げる音を聽け（後書き）

連載開始…！

今回は絶対に途中で折れません。…きっと。

文章能力が劣るため、頭がついてこないんです。

更新遅めですが、気長にお願いいたします。

*高露神と書かれていますが、“露”的部分は本来の漢字が私のパソコンで出てこないため、この表記となっています。読み方は“たかおかみの神”です。申し訳ありません(Ｔ－Ｔ)。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0055f/>

時の音色よ、天へと届け

2010年10月11日22時35分発行